

陳 情	受 理 番 号	114	受 理 年 月 日	令和5年5月22日	付 託 委員会	総 務
件 名	学生議会開催について					

件 名 学生議会開催 について (陳情)

陳情の趣旨

- 1 中学生、高校生、大学生による学生議会開催を求める
- 2 学生議会に予算を付与し、学生で政策を立案する
- 3 学生と行政が協力し、立案された政策を実行する

陳情の理由

私達、学生が生活している中で、目頃感じている不満や要望を行政に伝える場がないと考えます。また、行政側が考える政策と学生側が考える政策には齟齬があると感じます。そこで私達は、学生の要望を議論し実行するための場として学生議会の開催を求めます。沖縄県では2019年に県議会で高校生議会が開かれましたが、内容は知事への質疑など、実際の施策に反映されているか不透明だと感じました。また、コロナ禍により高校生議会の開催が難しくなっており、今日に至るまで開催されていないのが現状です。県外の事例を見てみると、愛知県の新城市では、若者議会に1000万円の予算を割り当て、政策を実行しています。また山形県遊佐町では45万円の予算を少年議会に割り当てています。私達はこれらの県外の事例のように学生が予算範囲内での政策を立案、議論し実行する学生議会開催を強く求めます。